

1 基本理念

現代社会は、さまざまな分野でグローバル化、情報化、成熟化等が進み、大きく変化しています。このため、一人一人が自ら学び、自ら考え行動できる力、広い視野をもって社会の変化に柔軟に対応できる力を身に付け、自分の将来に夢をもち、自分らしい生き方を前向きに追求していくことができる人間の育成が求められています。

また、今日の社会は、経済・社会環境や人々の意識の変化に伴い、家庭・地域・職場での人と人とのつながりが希薄化しているといわれます。今後も、世帯構造、就労形態やライフスタイルの変化などに伴い、人と人、人と地域のつながりが弱まり、特に地域においては、住民が互いに支え合い、助け合う関係や活力が失われていくことが懸念されています。その一方で、安全・安心な地域づくりや地域の教育力の向上など、地域が果たす役割への期待が大きくなっており、地域のつながりの重要性がますます高まっています。

こうした中で、未来へ向けて豊かで活力ある岐阜県を築いていくために、教育ビジョンでは、これからの岐阜県の教育がめざす人間像を次のように定め、本県教育の基本理念とします。

めざす「ぎふの人間像」

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、
家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、
地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

この基本理念は、次の三つの考え方に基づいています。

- (1) 人間は、社会の中で共に支え合い、助け合ってこそ生きていけるものです。人と人のつながりが弱くなっている現代社会にあっては、一人一人が社会の中で自立し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、互いに助け合い、知恵を寄せ合って、さまざまな集団の中で能力・個性を發揮して生きていける人間を育成する必要があります。
- (2) 社会や地域の発展は、それを形成する人々の自己実現への努力なくしてはありえません。このため、自分の将来に夢をもち、その実現に向かって、生涯を通して自ら学び、自らの能力・個性を磨き高め、広い視野をもって、グローバル社会で活躍できる人間を育成する必要があります。

(3) 豊かで活力ある地域社会を実現するためには、自らが地域社会の一員としての自覚をもち、人や社会とつながり、地域で支え合い、よりよい地域社会づくりに貢献できる人間を育成する必要があります。

基本理念の趣旨

岐阜県では、未来を担う子どもたちに、自ら考え行動できる力、コミュニケーション能力や協調性といった「人とつながる力」、豊かな人間性・社会性、規範意識など、社会人としての基礎的な資質・能力をしっかりと身に付けさせます。また、生涯を通して自ら学び、能力・個性を磨き高める自己開発能力を身に付けさせるとともに、高い志とグローバルな視野をもって、夢や目標に向かって挑戦し続ける力を育成します。

こうした資質・能力を基盤として、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築いて、助け合いと知恵のネットワークを広げ、公共心と自治意識をもって、地域の福祉、子育て支援、防災、教育、文化の継承、持続可能な環境づくりなどに主体的に関わり、互いに協働して地域の課題解決に取り組むとともに、産業活動を担い、未来を切り開く新しい価値を創造し、安全・安心で活力ある地域づくりに貢献する「地域社会人」を育成します。

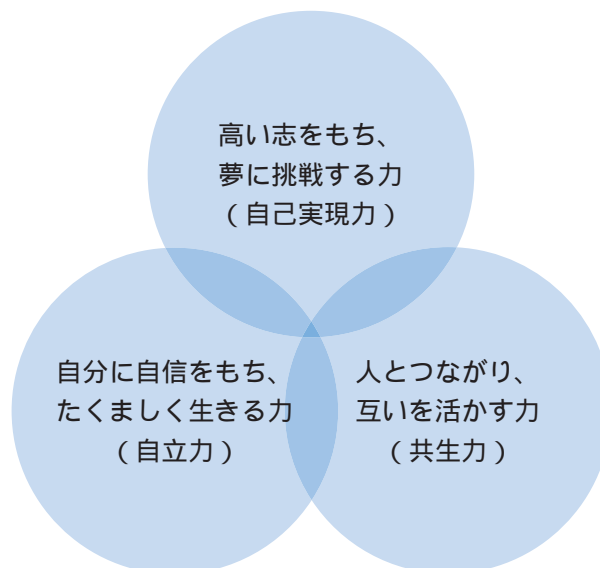
この基本理念に基づいて、岐阜県の子どもたちには、自立力・共生力・自己実現力の3つの力を、一体としてバランスよく育成していきます。

【3つの力】

自分に自信をもち、生涯を通して自ら学び、自ら考え行動し、社会の変化に主体的に対応していく力（自立力）

思いやりや助け合いの心、コミュニケーション能力や協調性をもち、人や社会とつながり、豊かな人間関係を広げ深めていく力（共生力）

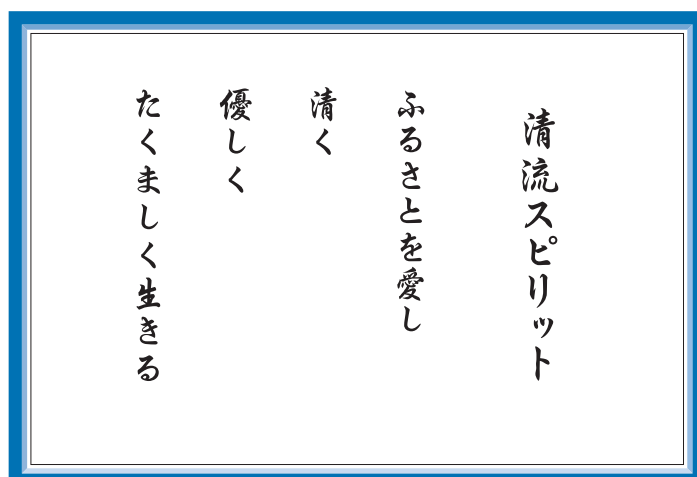
高い志とグローバルな視野をもち、問題解決能力や創造力を発揮し、夢に向かって挑戦し続けるとともに、新しい価値を創造し、地域や社会の発展に貢献できる力（自己実現力）



【ふるさと岐阜の豊かな自然がはぐくむ自立と共生の心「清流スピリット」】

すべての子どもたちが、美しい心、思いやりの心をもって、たくましく生きていく姿は、県民の皆さんの心からの願いです。美しく豊かな岐阜県の自然を象徴する清流は、山から川へ、川から海へと流れ、やがて海の水は山に雨の恵みをもたらします。清く澄んだ川の流れは、穏やかで優しく、同時に大自然の力強さをもっています。また、川で生まれた鮎が、海で育ち、再び遡上して帰る母なる川でもあります。

岐阜県で生まれ育った子どもたちが、将来の夢や目標に向かって、「清く」「優しく」「たくましく」生きていく姿や、将来どこで暮らそうとも、「ふるさと岐阜への誇りと愛着をもち続ける心」を、美しい清流にたとえ、「清流スピリット」と表現し、岐阜県の子どもたちへのメッセージとして、県民の皆さんと共に子どもたちに伝え、未来を担う子どもたちの健全な育成に取り組んでいきます。



清流 長良川

2 政策の基本方向

基本理念に掲げる「ぎふの人間像」を実現するためには、確かな教育力をもつ「学校づくり」と、社会全体で子どもたちをはぐくむ「地域づくり」を進め、これらを車の両輪として、新しい時代に対応した教育を推進していくことが重要です。

このため、教育ビジョンでは、本県の教育政策の基本方向を次のように定め、2つの基本方向に沿って、学校、家庭、地域が連携して、子どもたちの自立力・共生力・自己実現力を育成する教育を推進していきます。

基本方向

1

確かな教育力で県民の期待に応える学校づくり

【基本的な考え方】

子どもたち一人一人が、自立力・共生力・自己実現力を身に付けていくためには、学校が確かな教育力を持ち、県民の期待に応える質の高い教育を推進していくことが不可欠です。

このため、各学校が開かれた学校づくりを進める中で、教育目標や教育方針、特色ある学校づくりの方向性など、学校のビジョンを明らかにし、家庭や地域と連携した教育活動をさらに充実していきます。

また、教職員一人一人の確かな指導力の向上を図るとともに、学校が組織としての力を発揮できる経営体制づくりを進め、学校全体として確かな教育力を確立し、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進します。

これに加え、幼児期における教育が、知的な発達や豊かな心の育成、体力づくりや発達障がいのある子どもたちへの支援などの点で極めて重要であることを踏まえ、幼児教育の充実を図るとともに、幼稚園・保育所、小・中・高等学校の学校種間の連携を図り、すべての学校の教育力の向上を図ります。また、「子どもかがやきプラン」に基づき、特別支援学校の整備を推進するとともに、特別支援学校と各学校種との連携を推進し、すべての学校において児童生徒一人一人に応じたきめ細かな支援を行う特別支援教育の充実を図ります。

こうした学校づくりを進めるとともに、それぞれの学校では、将来、社会人として必要とされる基礎的な資質・能力の育成を重視しながら、社会を知り、社会とのつながりを学ぶ教育を推進し、子どもたちの自立力・共生力・自己実現力の育成に取り組んでいきます。

(社会人としての基礎的な資質・能力と自己開発能力の育成)

本県の教育は、自立力・共生力・自己実現力を身に付けた「地域社会人」の育成を目指しています。この理念を実現するため、すべての子どもたちに、基礎的・基本的な知識・技能の定着とそれらを活用する力を身に付けさせるとともに、コミュニケーション能力や協調性

といった「人とつながり、互いを活かす力」、豊かな人間性・社会性、規範意識、自律心、責任感など、自立した社会人として、社会に参画し貢献するために欠くことのできない基礎的な資質・能力を育成します。

また、子どもたちの「学びの自立」を目指して、自ら学ぶことの大切さを実感できる教育を推進し、生涯を通して自ら学び、自らの能力・個性を磨き高める「自己開発能力」を育成していきます。

(社会を知り、社会とつながる教育の推進)

子どもたちが、人間としての在り方・生き方を見つめ、将来への夢をはぐくみ、自分自身の将来像をつくりあげていくためには、自分を知り、自分を取り巻く社会を知り、自分と社会とのつながりを学んでいくことが大切です。また、子どもたちは、ボランティア活動などの地域活動や地域のさまざまな行事への参加を通して、社会に貢献する喜びや達成感を味わい、社会とのつながりを実感し、深めていきます。

このため、各学校が地域に開かれた学校づくりを通して、地域との連携をさらに深め、地域の人材やさまざまな教育資源を活用しながら、地域産業と連携した産業教育・キャリア教育の充実、総合的な学習の時間や豊かな体験活動の充実を図るとともに、教育活動全般にわたって、より実践的な教育を推進し、子どもたちが将来、自立した社会人・職業人として自己実現を図り、「地域社会人」として、よりよい地域社会づくりに貢献できるよう、子どもたちの自立力・共生力・自己実現力を育成していきます。



【基本的な考え方】

子どもたちは、地域におけるさまざまな体験活動や人々とのふれあいを通して、豊かな人間性や社会性などを身に付けていきます。こうした心豊かな人間の育成は、学校教育のみで成り立つものではなく、学校、家庭、地域が連携・協力して、地域全体で取り組んでいくことが極めて重要です。

しかし、今日、子どもたちの豊かな人間性や社会性を幅広くはぐくむ場である地域社会においては、人間関係の希薄化や、少子化・核家族化など、社会環境の変化に伴い、子どもたちが同世代や異年齢の仲間と交流したり、地域の人々や自然とふれあう機会が減少し、豊かな人間性・社会性をはぐくむ機会が得にくくなることが懸念されています。

こうした状況を踏まえ、それぞれの地域において、家族はもとより、地域の大人たちが子どもたちとふれあう多様な場や機会をさらに広げ、地域の教育力の向上を図っていくことが求められています。このため、子どもたちが多くの人々と豊かな人間関係を築き、社会の一員としての自覚を高め、規範意識や倫理観、他者を思いやる心などの豊かな人間性や社会性をはぐくむことができるよう、学校、家庭、地域、企業等が一体となって、子どもたちをはぐくむ「県民総参加教育」を、市町村と連携を図りながら推進していきます。

また、こうした「県民総参加教育」をより具体的な形で進めていくため、家庭教育の充実に向けた支援を進めるとともに、学校、家庭、地域、企業等が連携して、社会全体で子どもたちをはぐくむ「教育コミュニティづくり」を推進し、地域におけるさまざまな体験活動や人々とのふれあいを通して、子どもたちの自立力・共生力・自己実現力の育成とその基盤となる自己肯定感をはぐくんでいきます。

(多様な体験・ふれあいの場を広げる教育コミュニティづくり)

これからの教育には、地域との連携や地域貢献など地域との関係をより重視していくことが求められています。このため、本県では、「人が地域をつくり、地域が人をつくる」という基本的な考え方に立って、子どもたちが、人や社会とつながり、地域で支え合い、よりよい地域社会づくりに貢献できるよう、市町村と連携を図りながら、社会全体で子どもたちをはぐくむ「教育コミュニティづくり」を推進していきます。

また、教育コミュニティづくりを推進する中で、ボランティア体験などの社会奉仕体験活動や、自然体験活動、スポーツ・文化活動など幅広い分野にわたって、多様な体験活動の充実を図り、こうした地域に根ざした体験活動や人々とのふれあいを通して、子どもたちに自ら考え行動する力、豊かな人間性や社会性、命を大切にする心や自然を愛する心などをはぐくんでいきます。

さらに、こうした地域の教育力を活用して、地域住民が学校支援ボランティアとして、部活動の指導や学習支援活動、登下校の安全確保など、学校の教育活動を支援する取組を推進するとともに、地域の大人が身近な子どもたちに声をかけたり、子どもたちのようすを注意深く見守るなど、いじめの根絶に向けて、「子どもを地域で守り育てる県民運動」を展開していきます。

これからの地域づくりにおいては、子どもたちが、地域社会の一員としての自覚をもち、地域づくりに主体的に関わっていくことが極めて重要であり、そのためには、子どもたちが生まれ育った地域のすばらしさを知り、地域への誇りと愛着をはぐくんでいくことが大切です。このため、子どもたちの地域活動への参加を促進するとともに、国やふるさと岐阜を愛する心をはぐくむ「ふるさと教育」や「環境教育」「食育」など、地域を知り、地域に学ぶ教育の充実を図っていきます。

(自己肯定感の育成)

子どもたちが、自分に自信をもち、いきいきと個性を輝かせて、将来の夢や目標に向かって力強く歩いていくためには、子どもたち一人一人が、人や社会との関わりの中で、自分のよさや可能性に気づき、自分をかけがえのない存在であると感じることができる「自己肯定感」をはぐくむことが不可欠です。

自己肯定感とは、子どもたちがさまざまな体験を通して得られる達成感や充実感、家族や仲間、地域の人々、教員など周囲の人たちに認められる喜びからはぐくまれるものです。

子どもたちの自己肯定感の育成に向けては、学校での取組はもとより、それぞれの地域において、学校、家庭、地域、企業等が連携して、自然体験や社会体験、異年齢集団による活動や交流など、地域における多様な体験活動を展開していくことが重要です。こうした地域におけるさまざまな体験活動や人々とのふれあいを通して、家族や周囲の大人たちが、多くの目で、多様な尺度により、子どもたち一人一人のよさを多面的に認めていくことで、子どもたちが学校での学習活動やさまざまな活動への意欲を高め、個性や能力を発揮しながら力強く生きていくことにつながるものと考えます。

